



沖縄県での開催は9回目となる、おきなわシーサーラウンド！今回も参集とWEBのハイブリット形式での開催となりました。今回は、10月の開催となり、中体連の強化大会・駅伝シーズン等で参加が難しい状況での開催となり参加人数が心配されましたが、総勢32名の先生方に参加していただきました。佐藤先生にはご多忙の中ご来県していただき、授業づくりの課題解決につながる情報提供をしていただきました。

今回は、前年度沖縄県学校体育研究発表大会のフォローアップと、佐藤先生による『指導と評価の一体化の実現に向けた授業改善』についての情報提供やワークショップを通して学びを深めていきました。小・中・高の垣根を越えて交流を深めることができた4時間でした！

### 1 「学童期におけるヘルスリテラシーの向上」について

中城村立中城小学校の照屋保先生より、小学校6年生の保健領域「病気の予防」と算数科「データの活用」の合科的アプローチを通じた取組「中城小っ子ちゃ〜が んじゅ〜（いつも元気という意味）大作戦」についての実践報告がありました。

子どもたちの実態から①健康課題（病欠・感染症・むし歯等）を見つけ、②グラフや表を使ってデータ分析し、アンケートやインタビューを行い、③課題解決に向けて、ポスターを作成して全校児童に注意喚起したり、感染症のリスクを下げるために屋外でのスポーツ大会の計画をする等の内容でした。

これまでの保健領域の授業では、得た知識を活かしていないという課題から、健康や医療に関する情報の「入手」、「理解」、「評価」、「活用」を通して、「健康に結びつく、より良い意思決定を行う力」を育みたいと、保先生の教育にかける熱い思いが伝わりました。佐藤先生より貴重なご助言もいただき、実りある実践報告となりました。



### 2 「指導と評価の一体化の実現に向けた授業改善」ワークショップ

まず、佐藤先生から「指導と評価の一体化」について情報提供をしていただきました。「技能」と「態度」は指導する機会、育てる機会、評価の機会を設けて設定する。「思考・判断・表現」は「知識」が活用できるようセットを検討する等、単元構造図を作成する際のポイントについてご教授いただきました。



それを受けて、県内外の様々な校種の先生方を4～5名の7グループに分け、「単元構造図指導と評価のタイミングワーク」を行いました。その後、各グループで作成した単元構造図の発表を行い、発表内容について佐藤先生から解説・助言及び講評をいただき、本研究会を締めくくりました。



活発な意見交換ができ、県内外の先生方との交流も深めながら、あっという間に時間が過ぎていました。今後の体育・保健体育の授業のさらなる充実が期待できることを感じました。引き続き、体育の価値を高めていくために頑張っていきたいと感じることができた「おきなわシーサーラウンド」でした。